

2026年6月19日

各位

株式会社池田泉州銀行
池田泉州キャピタル株式会社

～ワイヤレス体内植込型 BCI により、患者さんの QOL 向上に貢献します～

イノベーションファンド 25Next による 株式会社 JiMED への投資実行について

池田泉州キャピタル株式会社（社長 入江 努）が運営し、株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 阪口 広一）等が出資する「関西イノベーションネットワーク 2 号投資事業有限責任組合（愛称：イノベーションファンド 25Next）」は、2026年5月20日付で、株式会社 JiMED（本社：大阪府吹田市、代表取締役中村 仁）に対し、投資を実行いたしました。

イノベーションファンド 25Next は、地域社会における新事業の創出等産業振興に寄与し、大阪・関西の地域経済の発展や雇用の確保に繋がると期待され、「SDGs が達成される社会」や「Society5.0 の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業を投資対象としております。

株式会社 JiMED は、大阪大学 平田 雅之特任教授等が長年研究してきた「ワイヤレス体内植込型 BCI（ブレインコンピューターインターフェース）」（※1）の社会実装を目的として設立され、同技術を活用した医療機器の開発に取り組んでいます。現在は、身体を動かすことや言語による意思伝達が困難な ALS 患者さんを対象とした意思伝達用途の医療機器開発を進めています。将来的にはスマホ・ロボティクス操作用途やその他疾患患者さん向け医療機器の開発にも広がっていく計画です。同社の取り組みを通じて、患者さんのコミュニケーション・活動等が拡張され、QOL（Quality of Life）の向上につながることを期待されます。

当行グループはイノベーションファンド 25Next を通じて、SDGs③「すべての人に健康と福祉を」の実現に貢献する株式会社 JiMED を支援いたします。


※1：ワイヤレス体内植込型 BCI とは、脳活動を利用して、身体を動かさずとも PC 等の電子機器を操作することを可能にする技術。当社が開発するデバイスでは、脳波計を頭蓋内に埋植、脳波をワイヤレスで送受信し、脳波解読装置にて運動意図を解読することで外部機器の操作を可能とします。

【株式会社 JiMED が開発する「ワイヤレス体内植込型 BCI」】



（出典：株式会社 JiMED 提供資料）

【投資先概要】

社名	株式会社 JIMED
代表取締役	中村 仁 (なかむら じん)
所在地	大阪府吹田市山田丘 2-8 テクノアライアンス棟 C 棟
設立	2020 年 3 月 26 日
事業内容	ワイレス体内植込型 BCI の開発
URL	https://www.jimed.jp/
ビジョン	それでも、「生きる」を選べるために。
SDGs の実現	

【ファンド概要】

名称	関西イノベーションネットワーク 2 号投資事業有限責任組合 (愛称：イノベーションファンド 25Next)
ファンド総額	29.3 億円
有限責任組合員(LP)	岩谷ベンチャーキャピタル合同会社、公益財団法人大阪産業局、 大阪信用保証協会、関西テレビ放送株式会社、 サントリーホールディングス株式会社、ダイキン工業株式会社、 株式会社ダスキン、南海電気鉄道株式会社、日本生命保険相互会社、 阪急阪神ホールディングス株式会社、三井住友信託銀行株式会社、 株式会社ゆうちょ銀行、株式会社ユニオン、株式会社読売新聞大阪本社、 ロート製薬株式会社、株式会社池田泉州銀行
無限責任組合員(GP)	池田泉州キャピタル株式会社
投資対象	「SDGs が達成される社会」「Society5.0 の実現」に貢献する技術・ビジネス モデルを持った企業
投資形態	普通株式、優先出資 等
設立日	2023 年 5 月 30 日
存続期間	10 年 (最大 3 年まで延長可)
連携機関	大阪府、大阪市、堺市、大阪商工会議所、公益財団法人大阪産業局、 地方独立行政法人大阪産業技術研究所、株式会社池田泉州銀行 (2023 年 5 月 30 日付「関西イノベーションネットワーク 2 号投資事業有限責任組合」を 通じた連携に関する協定書」を締結)

以 上